



(様式第1号)

平成 28 月 5 月 25 日

認定介護福祉士認証・認定機構

理事長 大島 伸一 様

領 域 名 : ⑨自立に向けた介護実践の指導領域

科 目 名 : ⑨-1 応用的生活支援の展開と指導

単 位 数 : 2 単位

認証申請する研修の名称 : 認定介護福祉士養成研修

団体名 : 公益社団法人長野県介護福祉士会

団体事務所の所在地 : 〒 380-0928

長野県長野市若里 7-1-7

電話 : 026-223-6670

FAX : 026-223-6679

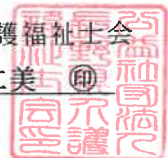
E-mail : sakai@kaigo-nagano.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者:(公社)長野県介護福祉士会

会長 島山仁美

申請責任者 : 酒井 良育



記

○認定介護福祉士認定研修認証申請書 (別紙1~3)

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	自立に向けた介護実践の指導領域	
科目名	応用的生活支援の展開と指導	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職チームにケアの目標を共有する方法を検討し、共有する力を育成する ・自立に向けた介護実践を介護職チームに指導する力を育成する ・自立に向けた介護実践を理解し、実践できる職場をつくる力を育成する ・他専門職と連携する力を育成する 	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生物として人間が代謝し、排出することの基礎を理解し、実践・指導できる ・個として人間が歩き、食べ、排泄することの意味を理解し、歩行、排泄、食べることの支援（経口摂取の維持と回復を含む）、拘束しない介護等を実践し、介護職のリーダーとしての役割を理解し、実践できる ・自立するための身体機能、精神機能を評価し、適した用具の活用、他専門職種、ソーシャルサポートの連携等を含めた応用的な支援計画と自己実現を支援する実践の指導ができる ・自立に向けた介護実践を行うための職場のしくみを改善することができる 	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者の状態の積極的な改善を目指した一連のサービス展開について、根拠となる知識（高齢者の解剖生理学等）、生活支援全体のプランニング、チームケアの展開における指導の留意点など <ul style="list-style-type: none"> ・代謝と排出 ・歩行・移動の自立 ・排泄の自立 ・食べることの支援と自立 ・身体拘束の廃止など ・虐待をしない人材育成 ・介護チームの理解と指導 ○職場を改善するための指導・育成のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・他の介護職員への生活支援技術の指導方法 ・介護職員への研修プラン ・事例検討の運営に関する知識と技術 ・プレゼンテーションの技術 ・ファシリテーターの役割、チーム作り ・地域資源との関係作り 自立支援、地域生活、介護職チームの指導、基本的人権などの倫理観、他専門職、福祉用具、医学的知識、運動学の知識、尊厳の保持、サービスの改善、職場の介護チームの再編 	<p>第1回 本研修内容の説明 第2回 職場の課題の整理（介護職チームの課題） 第3回 介護職員への研修内容の作成 以上集合研修（3）</p> <p>第4回 } 第5回 } 第6回 } 第7回 } 第8回 } 以上実地研修（5）</p> <p>第9回 職員研修内容と実施方法の再検討 第10回 プレゼンテーション技術の実際 第11回 プレゼンテーションの指導 以上集合研修（3）</p> <p>第11回 } 第12回 } 第13回 } 以上実地研修（3）</p> <p>第14回 プレゼンテーション研修内容・方法の検討 第15回 事例検討実施方法 第16回 事例検討会実施の指導方法 以上集合研修（3）</p> <p>第17回 } 第18回 } 第19回 } 第20回 } 第21回 } 以上実地研修（5）</p>

	<p>第 22 回 社会資源の捉え方・社会資源との関係作り、介護職チーム作り 以上集合研修（1）</p> <p>第 23 回 介護職員との社会資源マップの作成 1 第 24 回 介護職員との社会資源マップの作成 2 第 25 回 社会資源マップから関係を作る資源の選定と関係を作る方法の指導 第 26 回 社会資源との関係作り実践指導 1 第 27 回 社会資源との関係作り実践指導 2 第 28 回 社会資源との関係作りを通じた介護職チームの育成 1 第 29 回 社会資源との関係作りを通じた介護職チームの育成 2 第 30 回 課題の作成と提出 以上実地研修（8）</p>
研修方法	<p>■通学課程（集合研修） ■課題学習</p> <p>○集合研修講義と演習を組み合わせで行う。 ○課題学習は事後課題として、自職場で課題を実施。評価は担当講師が行う。</p>
研修時間	60 時間（集合研修 20 時間、課題学習 40 時間）
修了要件	<p>○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻、早退については合計 30 分（遅刻、早退それぞれ 15 分）を上限として認める。（レポート課題なし）1 日のプログラムのうち、始めの 30 分を超える遅刻、終わりの 30 分を超える早退であって 120 分以内である場合、レポート課題による代替を可能とする。120 分を超える遅刻、早退の場合は、ビデオ学習による補講を行ったうえでレポート課題を提出するものとする。また、各コマにおいて合計 15 分以上の離席があった場合には講義・演習の内容を補うレポート課題を提出するものとする。</p> <p>○事後課題は A～D の 4 段階評価とし、D 評価の場合は 1 度のみ再提出を認める。なお、事後課題の提出が期限内に行われな場合、修了を認めない。 ○欠席の場合は修了を認めない。</p>
講師要件（講師の選定基準）	<p>・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者 ・補助者についても当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者</p>
(2) 受講者について	
受講対象（受講要件）	<p>単位取得できるのは介護福祉士資格を有する者であること。 ・Ⅱ類の本領域以外の全ての科目を修了していること。</p>
修了評価	<p>修了評価は以下により行う。(①～④の全てを満たすこと)</p> <p>①出席状況が修了要件を満たしていること。(全課程の出席。ただしやむを得ない事情による 30 分以内の遅刻、早退は認める。詳細は修了要件欄を参照。)</p> <p>②演習において、発言内容、他者の意見に対する対応、演習内容の理解力等を講師が評価し、一定以上の基準を満たしていること。(合格、不合格で判定)</p> <p>③事後課題「職場の介護職員への研修実施、モデル事例検討会の実施と多職員に対する事例検討会の指導」の実地研修により課題の作成をして提出すること。</p> <p>④事後課題の評価が A～C であること。D 評価の場合は 1 度のみ再提出を認め、C 以上の評価を得なければならない。 ※D 評価の場合未修了となり、本科目の修了を要件とする科目は受講できない。</p>
(3) 研修の環境条件	
定員（講師の配置基準）	30 名（講師 1 名）演習時に 4～5 名のファシリテーター（介護福祉士を含む）を配置する
開催場所（都道府）	JA 長野県ビル（長野県長野市）

県)	
----	--

(別紙 3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 平成 30 年 7 月
	②
	③
開催場所 (会場)	① 長野県長野市 JA 長野県ビル
	②
	③
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	担当する講義等 応用的生活支援の展開と指導
	本名靖 氏 東洋大学ライフデザイン学部 教授 元厚労省社会援護局福祉基盤課 介護福祉専門官 認定介護福祉士認証・認定機構理事
	担当する講義等 修了評価 本名靖 氏 東洋大学ライフデザイン学部 教授 履歴等は同上
	担当する講義等 演習 研修委員会委員(介護福祉士)ほか
(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	研修委員会 (非常勤: 17 名) 事務局 (担当事務局員、常勤: 4 名) 研修委員会において各科目の教育目的や到達目標を確認し、担当講師と科目間の連関や留意点について共有する。また、できる限り研修委員会の委員が研修を見学し、研修内容を評価するとともに、随時、研修の見直しを図る。
研修の企画運営に関する諸規程	研修委員会設置要綱
研修管理責任者職名	副会長
研修管理責任者氏名	原千香子
機構問合先部署	長野県介護福祉士会事務局
機構問合先担当者氏名	酒井良育
機構問合先電話番号/FAX	026-223-6670 FAX 026-223-6679
機構問合先 e-mail アドレス	sakai@kaigo-nagano.jp
受講問合先部署	長野県介護福祉士会事務局
受講問合先担当者氏名	酒井良育

受講問合せ先電話番号/FAX	026-223-6670 FAX 026-223-6679
受講問合せ先 e-mailアドレス	sakai@kaigo-nagano.jp
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	長野県介護福祉士会事務局
受講履歴の管理方法	<ul style="list-style-type: none"> ○紙媒体及びデータによる台帳管理 ○外付けディスクにバックアップデータを保管する。 ○データ保存期間は10年間とし、その後は外付けディスクにてデータを保管する。 ○個人情報の取り扱いにあたっては、法律を遵守する。
受講履歴の証明	全課程を修了した者には、会長名による修了証書を発行する。
管理責任者氏名	土屋一都(事務局長)
管理担当者氏名	酒井良育(担当の常勤職員)